

しおかぜ

～2014年 No.15～



基本理念

病める人とともに、和と向上心を持って、
総合的かつ継続的医療の実現を目指す。

基本方針

- 1.垂水地区の中核病院として病診連携を充実し、地域に必要な医療を提供します。
- 2.一次救急、二次救急および地域医療支援に24時間体制で対応します。
- 3.保健・医療・福祉の連携により、地域住民の健康増進に貢献します。
- 4.患者様の人権を尊重し、患者様を中心としたチーム医療に努めます。
- 5.感染症および災害発生時には、拠点病院としての役割を果たします。
- 6.医療従事者の生涯教育に努め、質の高いスタッフで患者様の健康を守ります。
- 7.病院を健全経営し、患者様に安定した医療を提供できるように努めます。

【目次】～CONTENTS～

- ◇P1：高血圧・糖尿病予防教室について
- ◇P2：おはら祭り前夜祭参加について
- ◇P3：消防避難訓練について
医療安全推進標語について
- ◇P4：病気の知識（花粉症について）
在宅医療推進講演会のご案内
- ◇P5：電子カルテ導入のお知らせと
お願い

～ 高血圧・糖尿病予防教室について ～

垂水市保健福祉課、市民課国保係主催「5回でマスター！血管元気生活～高血圧・糖尿病予防教室～」に当院の医師が講師として参加しました。この教室は、垂水市在住の40歳～74歳の方を対象に、高血圧・糖尿病の生活習慣病の予防と重症化予防を図ることを目的に2013年11月～12月に5回コースで実施し約40名参加しました。

12月2日は内科の岩谷 徳子医師が「知りたい！血圧って何？なぜいけない？高血圧」というテーマで約1時間講演。岩谷医師は「高血圧は全身の病気の原因になる。健康管理のために、日頃から家庭血圧測定を行うことや減塩を中心とした生活習慣に心掛けること」と説明。「きちんと治療することで臓器障害を防ぐことができるので、悪くなる前に治療を始めることが大事です」と話した。

12月9日は内科の伊集院 太生医師が「糖尿病は気付かないうちにやってくる」というテーマで約1時間講演。伊集院医師は「国民の6人に1人が糖尿病もしくは糖尿病が疑われると調査結果で推定される。糖尿病は合併症が出てしまう恐ろしい病気である」と説明。「生活習慣の改善（食事療法や運動療法）が最も重要である。また、早期発見・早期治療が大変有効である」と話した。

今回参加された方々は、大事なところはメモを取るなど最後までとても熱心に講演を聞いていました。講演終了後は、それぞれの病気について、疑問に思ったことやもっと知りたいことについて参加者から多数の質問がありました。

（12月2日 岩谷医師講演）



（12月9日 伊集院医師講演）



～ おはら祭り前夜祭に参加しました ～

2013年11月2日(土)「おはら祭り前夜祭」に垂水中央病院・コスモス苑の職員約80名が参加しました。今回の前夜祭には98踊り連の約8千人が参加。垂水中央病院・コスモス苑で準備したおそろいのほっぴを着用し、約1ヶ月前から一生懸命練習したおはら節やハンヤ節を詰めかけた見物客に披露しました。当日は、小雨がぱらつく悪天候でしたが、19時20分から21時の終了までみんな元気で踊りました。



(最後に参加者全員で記念撮影)

～ 消防避難訓練を実施しました ～

2013年11月12日午後から消防避難訓練を実施しました。今回の訓練は、夜間に2階病棟下膳室から火災が発生したとの想定で実施。看護師やその他職員が患者や付添い者役の職員を病院外へ迅速に避難誘導しました。また、消火器を使った消火訓練も実施しました。訓練最後の講評で、訓練を見守った垂水消防本部消防隊の方から「福岡で起きた病院火災は、病院が守るべき義務を怠っていたために被害が拡大してしまった。日頃から、個人がしっかりと火災発生時の役割を理解することが大事です。また、避難に関するマニュアルも随時見直していくことが必要です」と貴重な意見を頂きました。

(担架を使って屋外に避難する参加者)



(消火器を使用した消火訓練)



～ 医療安全推進標語について ～

毎年、医療安全推進週間（2013年度は11月25日～12月1日）に職員より「医療安全推進標語」の募集・最優秀賞等の決定を行っています。今年度は、128作品の応募がありました。最優秀賞は「Oレベル 増やして減らそう 医療事故」（栄養管理室）でした。その他、今年度の入選作品は下記となります。

順位	標語	部署
1位（最優秀賞）	Oレベル 増やして減らそう 医療事故	栄養管理室
2位（優秀賞）	違和感を 気付く力が 事故止める	リハビリテーション室
3位（優良賞）	危険予知 心のセンサー研ぎ澄ませ	4階病棟
4位（入選）	声掛けは リスク回避の 合言葉	レントゲン室
4位（入選）	ちょっとだけ 緩む心に 倍返し	事務部
4位（入選）	摘み取れ危険の芽 育てよう安全の輪	レントゲン室
4位（入選）	はっとした 今の気持ちを 忘れずに	外来

～ ご存知ですか？ 病気の知識（花粉症について） ～

Q 花粉症とは？

A 花粉症とは、**花粉が原因で起こるアレルギー性炎症**です。現在、日本人の約25%が花粉症だといわれています。季節性アレルギー性鼻炎とも呼ばれています。

Q 花粉症の主な症状は？

A 主な症状は、**くしゃみ、鼻水、鼻詰まり**です。それ以外にも、目のかゆみや充血、咽頭のかゆみや痛み、頭痛などさまざまな症状があります。

Q 花粉症の原因は何ですか？

A 原因となる花粉が飛散する季節にだけ症状があります。日本では、**約60種類の植物が花粉症を引き起こす**と言われています。主なアレルゲンは、スギ花粉、ヒノキ花粉、カモガヤ花粉、ブタクサ花粉、ヨモギ花粉などです。

Q 治療の方法は？

A 一般的には、抗ヒスタミン作用のある**抗アレルギー薬を定期的に内服したり、点鼻ステロイド療法が有効です**。その他、日常生活で**花粉が付着しやすい衣服の着用を避ける、外出時にはマスクやメガネ、帽子を着用する**ことで体に入る花粉を効果的に予防できます。

～最後に～

つらい花粉症の症状をしっかり抑えるためには、病院で診断を受け、自分に合った治療を行うことがとても大切です。受診する科目としては耳鼻咽喉科、アレルギー科になりますが、定期的に通院している方は、まずは主治医にご相談ください。



もしかして、花粉症？!

●在宅医療推進講演会のご案内

在宅医療に対する理解と普及啓発を図る目的で、下記日程で講演会を開催します。講師の写真家でジャーナリストの國森康弘氏は、「あたたかで幸せな生死を伝えたい」と在宅医療、看取り、地域包括ケアの撮影に力を注いでいます。在宅医療や在宅での看取りについて、少しでも興味のある方はぜひご参加下さい。

■日時／**2014年3月15日(土)**

開演13:00(受付:12:30)

講演13:15～14:45(予定)

■場所／垂水市文化会館(入場無料)

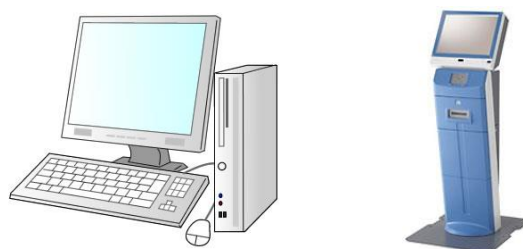
■講師／くにもり やすひろ 國森 康弘氏(写真家、ジャーナリスト)



●電子カルテ導入のお知らせとお願い

当院では医療サービスの向上、より安全な医療の提供、医療情報の共有化の促進などを目指し、**2014年3月1日（土）より『電子カルテ』を導入致します。**『電子カルテ』とは、紙に記載・保存していた「カルテ」（診療記録）を電子化し、コンピューターで記録・管理するものです。

導入にあたりましては、職員全員で十分な操作研修やリハーサルなどを行っており、万全な体制を整えています。導入当初は、職員が不慣れな点や想定外のトラブルによって、受付や診療などで時間がかかることが予想されます。また、一部受診手続きが変わるなど、患者の皆様にはご迷惑をお掛けすることがあるかもしれません。何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。



（操作研修に参加した職員）



垂水市立医療センター 垂水中央病院

〒891-2124

鹿児島県垂水市錦江町1番地140

TEL : 0994-32-5211 Fax : 0994-32-5722 (総務課)

0994-32-5230 (医事課)

【E-mail】 tarubyoin@po.city.tarumizu/kagoshima.jp

【URL】 <http://tarumizumh.jp>